

6 / 14 校長室より No.36

本日、町の芸術鑑賞教室が“あ～す”でありました。この行事はコロナのため2年間中止されていたので、3年ぶりの開催となります。演目はミュージカル「宝島」。手に汗握る事件の連続に、子どもたちはドキドキわくわくして見入っていました。加えて、児童演劇としては初となるプロジェクションマッピングを使った2.5次元の舞台に、ぐんぐんストーリーの中に引き込まれていっているようでした。

演劇に限らず芸術というのは、心を潤し、心を耕すために本当に必要なものだ、と、生徒諸君の表情を見ていて改めて強く感じたところです。



生きることは楽しいことばかりではありません。苦難に遭い、歯を食いしばって耐えなければならないこともあります。この作品を通して、生きる勇気を与えてくれるでしょう。

「人生をもっと楽しめ」「強く生きよ」と励ましてくれるメッセージが、この名作「宝島」には込められています。

〈パンフレットより〉

